

中川村 新たな学校づくり プロジェクト

中川村教育委員会

変わっていく 中川村の 教育環境



桜と東小とアルプス

中川村の人口の推移

平成16年(2004年) 5557人

平成21年(2009年) 5367人

平成26年(2014年) 5153人

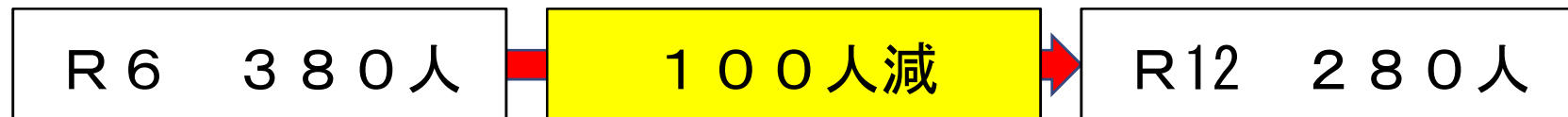
令和 元年(2019年) 4897人

令和 6年(2024年) 4630人

※各年8月1日現在の数値

想定される学校規模(令和12年度)

1歳	2歳	3歳	年少	年中	年長	小1	小2	小3
20人	34人	22人	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
			30人	31人	22人	48人	36人	35人



R5 地区懇談会(10回)

R3・R4 あり方検討委員会 グループワーク・ヒアリング

R5 語り合いシリーズ セミナー/ワークショップ/シンポジウム



委員によるグループワーク



地区懇談会で基本方針の説明



セミナーで先進事例に学ぶ



KJ法で意見をまとめている



地区懇談会での語り合い



ワークショップで知恵を出し合う

令和6年度 中川村新たな学校づくりプロジェクト〈ロードマップ〉

資料1



中川村を目指す新たな学校の姿
美しい村・中川村を再発見し、自ら楽しみ、次世代につなげる「みんなの学校」

学校教育がを目指す子どもの姿
自ら考え、判断し、行動して、人生を開拓する力を育む

目指す子どもの姿を実現するための教育



探究的に学ぶ

自分で問いを立て、自分の方法で、自分なりの答えにたどり着く、こうした経験をたくさん積むことで、主体性を育んでいきます。主体性を育むことが、自己肯定感を高めることにつながると考えます。

ごちゃまぜに学ぶ

学級だけではなく、同学年、異学年、地域の皆さんや村外の学校など、様々な人々と交わり学ぶ経験をたくさん積むことで、自分も他者も大事にし、違いを認め合い、共に生きていく力を育んでいきます。

中川村全体を学びの場としてグローバルに学ぶ

ふるさと中川村の人・自然・文化などの多様な魅力にたっぷり触れながら、グローバル(=地球規模の視野で考え、地域で行動する)に学ぶ経験をたくさん積むことで、よりよい社会をつくっていくという意識や実践力を育んでいきます。

新たな学校建設予定地(検討委員会)

- ・現中川中学校敷地を予定地とする
- ・できるだけ広く用地を確保するため、東側公営住宅敷地も用地として検討するよう委員会として意見

子ども達の学び
のエネルギーで
あふれる学校

目指す新たな学校の姿を実現するための仕組みとアクション

施設一体型の小中一貫教育校〈義務教育学校〉・学校運営協議会〈文科型コミュニティスクール〉等

9年間を一体的にとらえ、「発達段階に応じた特色ある学びを推進するカリキュラム」を整える

同学年、異学年、地域の皆さんなど、「多様な学習グループ」で学べる学校施設や設備を整える

地域が学校と連携・協働して、「オール中川」で子ども達の学びを支え育てる体制を整える

子ども達にとって
楽しく居場所
となる学校

建設予定地

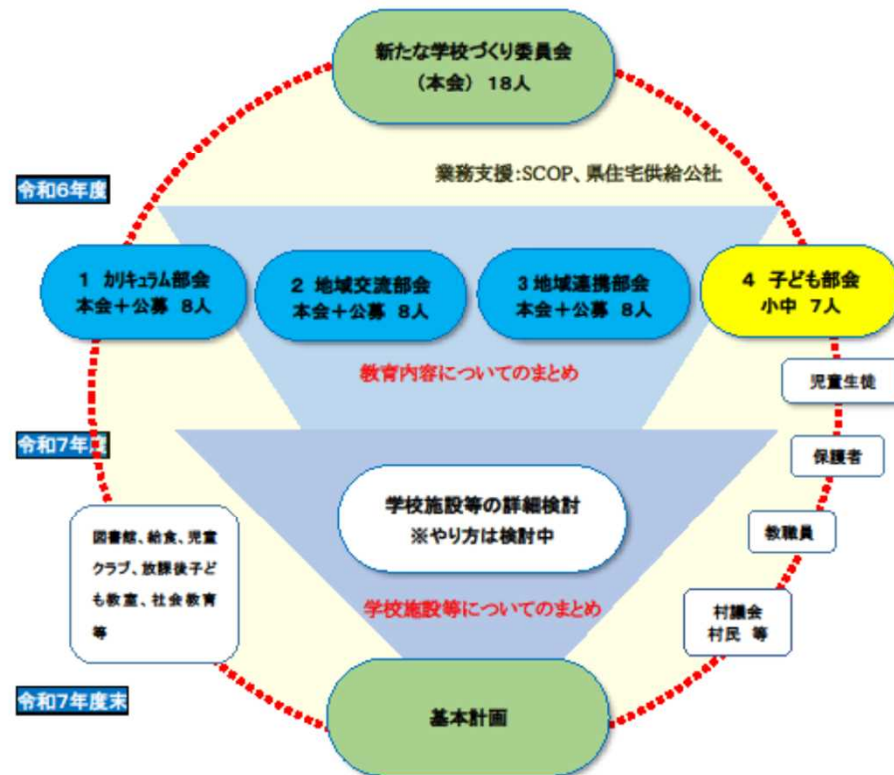


現中川中学校
敷地
37,300m²

現牧ヶ原南住宅
敷地
4,700m²

合計
42,000m²

中川村新たな学校づくり委員会



○委員会のねらい 「基本計画」の策定

令和6年度 主に教育内容について

令和7年度 主に学校施設等について

○委員会の構成

・委員会(本会)

18名 任期2年

・部会 本会委員+公募委員+推薦委員

公募 若者枠 3名 一般枠 3名

教育委員会が適当と認めた者 1名

・子ども部会

子ども委員 小・中7名

委員会における検討事項(予定)

委員会(本 会) 基本計画の策定に向け、義務教育学校としての
基本的枠組みについて検討 等

部会

- 1 カリキュラム部会 9年間を一体化した教育カリキュラム等を検討
- 2 地域交流部会 「ふるさと中川学(仮称)」を軸にして地域交流等を検討
- 3 地域連携部会 文科型コミュニティスクールを軸に地域連携等を検討

子ども部会 ○○○○○○○○○○

年間計画(予定)

第1回委員会(本会)7月

部会① 9月

部会② 10月

部会③ 11月

部会④ 12月

部会⑤ 1月

第2回委員会(本会)2月

子ども部会

8月より

※子ども委員と相談するところ
からスタート

その他

先進地視察 等

皆さんと考えたいこと

- 1 新たに義務教育学校をつくることをどう思いますか？
- 2 学校の「ここがいい！」、「ここが課題！」と思うところは？
- 3 「こんな学校だったらいいな！」と思うことは？
- 4 新たな学校は小中学生みなさんに直接かかわることで
す。子ども部会をどのように進めていきますか？また、子どもたちに関心を持ってもらうにはどうしたらよいですか？